

■ブラジル：2027年までのエネルギー10カ年増強計画が承認される

ブラジル鉱山エネルギー省（MME）は2018年12月28日、モレイラ・フランコ大臣（任期：2018年12月31日まで）が2018～2027年までの「エネルギー10カ年増強計画」（Plano Decenal de Expansão de Energia 2027：PDE 2027）を承認したと発表した。PDE 2027によると、2027年までにエネルギー供給量は年率2.3%（平均）で増加し、2027年時点のエネルギー供給量は3億6,740万石油換算トンとなり、再エネ（水力含む）が全体の47%を占めるとしている。また、エネルギーインフラ関連の投資は同期間で総額4,900億ドル（約53兆円）となり、内訳は石油・ガス関連が76.1%、電力関連が21.6%、バイオエネルギー関連が2.3%となる見通しが立てられている。なお、ブラジルでは2019年1月に極右のボルソナーロ新政権が誕生しており、今後、エネルギー・電源政策の方針が変わる可能性もある。